

## 宇宙科学・探査分野プロジェクトに異常事象が発生した場合における 代替機の開発を検討する際の基本的な考え方について

平成 28 年 8 月 18 日  
宇宙産業・科学技術基盤部会

X線天文衛星「ひとみ」の代替機については、衛星の喪失に伴う大きな事情変更による工程表の見直しという、工程表策定以降初めての事態であり、この点についても慎重に検討を行った上で、代替機の開発について判断したものである。

今後、仮に同様の事象が発生した場合に検討を進める際の目安として、以下に基本的な考え方を整理した。

なお、これは基本的な考え方であり、最終的な判断は、その他の様々な事情を総合的に勘案して個別に行われることとなる。

### (1) 適切な再発防止策の実施について

- 今後発生しうる事象の確実な防止に向けた対策に取り組まれていること
- 対策を実施するための責任体制の明確化及び適切な人材の配置がなされていること

### (2) 他の重要な宇宙科学・探査計画に与える影響等について

- 代替機の開発のコスト縮減等を通じて他のプロジェクトへの影響を最小限にし、他分野の研究者のプロジェクト参画機会を確保できるよう、宇宙科学・探査分野全体の計画が調和した形で進捗・発展できることへの見通しがあること
- それまでの機器の開発によって相当量の技術・知見等が蓄積されており、代替機の開発によりそれらが最大限に活用されること

### (3) 我が国科学コミュニティや海外関係機関の理解について

- 幅広い分野の科学コミュニティに対して代替機の開発による他のプロジェクトへの影響を含め丁寧に説明がなされていること
- その上で幅広い科学コミュニティが一定の理解・支持を示していると判断できること
- 国内外の研究開発パートナーからの必要な協力・支援が得られるとの十分な見通しがあること

**(4) 科学的意義等について**

- プロジェクトの喪失による宇宙科学の停滞が懸念されること
- 代替機が我が国の科学技術分野の国際競争力の維持・向上に顕著に貢献すること
- 国際協力プロジェクトである場合には、国際的な貢献・信頼回復の観点から相当の効果があること